

福島第一原子力発電所現地確認報告書

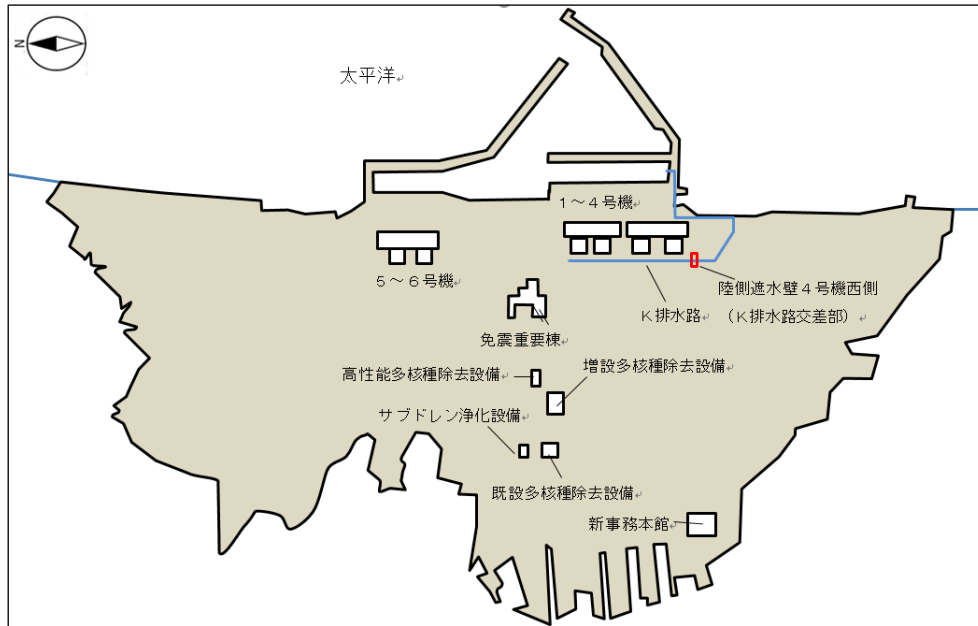
- 1 確認日
令和3年11月11日（木）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等へ流れ込む地下水の量を減らすため、1～4号機建屋周囲に陸側遮水壁（凍土壁）を設置している。

東京電力は敷地内を流れるK排水路との交差部付近の陸側遮水壁の一部の地中温度が今年8月下旬から上昇し、10月13日時点で0℃を超えている状態が継続していることを確認した旨を公表した。その後の調査でK排水路底部のコンクリート剥離箇所から排水路内へ地下水が流入していることが確認されたことから、陸側遮水壁周りの地盤調査を行うための掘削作業が予定されており、今回、状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・現場はK排水路と陸側遮水壁の交差箇所付近の北側で、現場確認時作業は行われていなかったが、単管パイプにより区画され、立入禁止措置が講じられていた。（写真2）
- ・掘削箇所はシート及びネットで養生され、周囲には雨水流入防止用の土嚢が設置されていた。（写真3）
- ・東京電力によれば、今後、地中温度の測定や地盤の状態の確認を行っていくとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
掘削現場付近の状況



(写真2)
立入禁止措置の状況



(写真3)
掘削箇所の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。